



## 三井住友トラスト・ホールディングス

2015年3月発行

三井住友トラスト・ホールディングス株式会社 経営企画部CSR推進室

〒100-8233 東京都千代田区丸の内1-4-1

電話 03-6256-6251 ファクス 03-3286-8741

ホームページ <http://smth.jp/csr/index.html>



**SuMi TRUST**  
SUMITOMO MITSUI TRUST HOLDINGS

# CSR REPORT

ダイジェスト版

2014





取締役社長

北村 邦太郎

## 皆さまへ

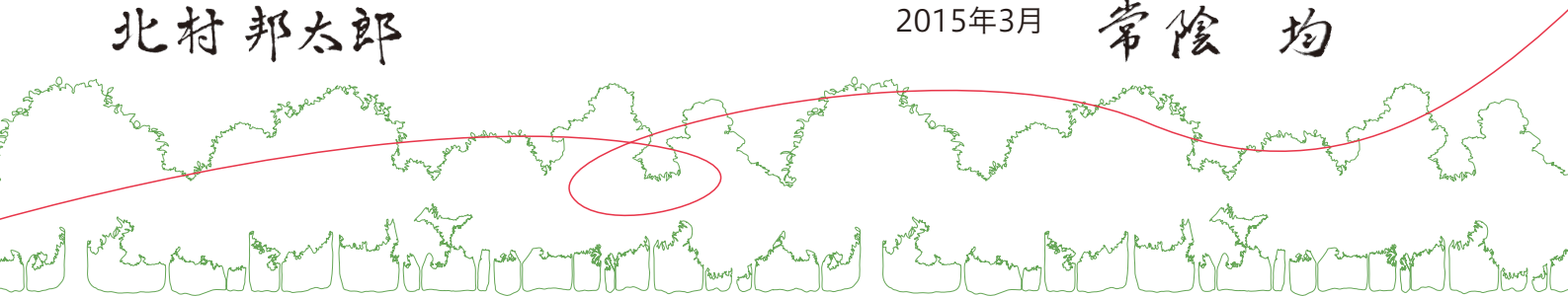
我が国におけるCSRの概念や取り組みは、少しずつ浸透しつつありますが、一方で、グローバル化による社会的課題の範囲や深刻さは、年々拡大しています。私ども三井住友トラスト・グループは、こうした問題に正面から向き合い、信託銀行グループならではの多彩な機能を生かし、持続可能な社会の形成に貢献する「No.1サステナビリティバンク」を目指してまいります。



取締役会長

常陰 均

2015年3月



# なぜ私たちが**No.1**サステナビリティバンクを目指すのか

## サステナビリティバンクとは…

国際紛争、格差拡大、地球温暖化、資源枯渇…人類を取り巻く問題はさまざまです。

サステナビリティとは「持続可能性」のこと。こうした課題の解決に貢献し、社会の持続可能性を高めながら、それを自らの持続的な成長の糧にするサステナビリティバンクを私たちは目指しています。



04 信託精神を体現する  
財コンという仕事

10 「人権」を  
地球的視野で考える

18 環境問題で  
金融界のリーダーとなる

06 シニアライフを  
全力で応援する

14 自然を守る  
「信託」を支援する

CONTENTS

## 三井住友トラスト・グループが果たす社会的責任

お客さまへの  
誠実な対応

社会からの  
信頼の確立

個人の尊重



環境問題への  
取り組み

事業を通じた社会・  
環境問題の解決への貢献

地域社会への  
参画・貢献

## 編集方針

2014年度のCSRレポートは、さまざまな読者ニーズに対応するため、2013年版に引き続き、2014年版もフルレポート、ダイジェスト版(当レポート)、テーマ別レポート(「気候変動」「自然資本」「責任投資」「環境不動産」)の3形態とさせていただきます。当グループのその他のCSRへの取り組みについては、ウェブサイトに掲載致します。

ウェブサイトURL:  
<http://www.smth.jp/csr/index.html>

※ 当冊子は、三井住友信託銀行を中心としたグループの取り組みを紹介しています。

# 私たちの実力

(2014年3月末時点)

投信・投資一任販売額

約1.5兆円

本邦銀行グループ  
第1位

不動産関連収益  
(グループ会社合算)

約469億円

信託  
第1位

資産管理残高※

約197兆円

本邦銀行グループ  
第1位

企業年金受託残高

約15兆円

信託  
第1位

金銭債権流動化受託残高

約12兆円

信託  
第1位

不動産証券化受託残高

約10兆円

信託  
第1位

年金総幹事件数

1,468件

信託  
第1位

証券代行管理株主数  
(グループ会社合算)

22,849千人

信託  
第1位

資産運用残高

約70兆円

本邦銀行・証券グループ  
第1位

投資信託受託残高

約40兆円

信託  
第1位

※ 三井住友トラスト・グループの合算信託財産残高

# 信託精神を体現する財コンという仕事

三井住友信託銀行の支店には、“財コン”—財務コンサルタントがいます。財コンは、高度な専門性と豊かな経験を持ち、専用の個室でお客さまとじっくり話し合い、財産に関するさまざまなニーズにお応えしています。お客さまから信じ託される信託の精神を体現するプロ、それが財コンなのです。



重厚感あふれる応接室でお話を  
うかがいます(日本橋営業部)  
写真:「月刊日本橋」



## お客様の想いを伝えるために



### 心から信頼されるから託していただける

財務コンサルタントの仕事には、お客さまにあらゆることをお話しただけよう信頼関係を築き、お客さまの中にある想いを聴き取ることが求められます。

私たちの仕事の一つに、遺言信託業務というものがあります。これは、お客さまの人生の集大成ともいべきご遺言の、作成から執行まで、一切の手続きを信じて託していただくという信託銀行の財務コンサルタントだからこそできる大切な仕事です。

この遺言信託業務は、単に財産をご遺族さまなどに分けるだけのものではありません。私たちはご本人から生前に、ご家族に向けた感謝の気持ちなどを聞かせていただき、それを遺言書に書き添えることをお勧めしています。相続されたご家族の中には、遺言書が開示され、そこに込められた親御さんの想いを知り、涙が止まらない方もいらっしゃいます。そのようなときほど、この仕事をしていることへの喜びと誇りを感じることはありません。

三井住友信託銀行 日本橋営業部  
上級主席財務コンサルタント  
植木 敏晴

### 90年間育んできた信託の精神

当社は設立から90年間、一貫して信託業務を専業として営んでまいりました。これまでの長い歴史の中で培われてきた信託の精神は、一朝一夕で他社に真似できるものではありません。私たちは、この受け継がれてきた信託の精神を胸に、これからもお客さまに信頼され、想いを託していただける財務コンサルタントであり続けたいと思っています。



# シニアライフを全力で応援する

世界有数の長寿国、日本。  
豊かなシニアライフのため  
には、さまざまな知識が必要  
です。私たちは、お客さま  
とともに学び、全力で支援し  
ていきたいと考えています。

## 認知症の主な症状

### 認知症とは

|             |                       |
|-------------|-----------------------|
| 1. 記憶障害     | 近頃、何かがおかしいと感じるようになった。 |
| 2. 判断力低下    | 以前より、物事を判断する力が低下した。   |
| 3. 行動・性格の変化 | 以前より、物事を判断する力が低下した。   |
| 4. 言語障害     | 以前より、物事を判断する力が低下した。   |
| 5. 視空間障害    | 以前より、物事を判断する力が低下した。   |
| 6. 実行機能障害   | 以前より、物事を判断する力が低下した。   |
| 7. 社会性障害    | 以前より、物事を判断する力が低下した。   |
| 8. 日常生活能力障害 | 以前より、物事を判断する力が低下した。   |

浴風会ケアスクールの服部安子校長による認知症についての講義  
(新百合ヶ丘支店シルバーカレッジ)

# 全国でシルバーカレッジを開催する



## 充実した老後を送るための「備え」を考える

安全安心で充実した老後を送りたい…。三井住友信託銀行は、そんなシニア世代のお客さまを対象に、全国の支店で「シルバーカレッジ」を開催しています。高齢社会に必要な三つの仕組み・機能は共助（医療や介護）、互助（相互助け合い）に加え、自らを守る自助といわれます。自助の一つが「備え」ですが、具体的に何を備えれば良いのか体系的に学ぶ場は、必ずしも多いとはいえません。シルバーカレッジでは「健康で安全

安心な生活」「住まいの選択肢」「認知症」「最期の迎え方」の四つを主要テーマに地域の特性も考慮したカリキュラムを作り、一流の講師陣から学んでいただいております。備えあれば憂いなし…私たちは、カレッジを卒業されたお客さまが充実した人生を全うされることを心から願っています。

### シルバーカレッジの主要4テーマ

#### 1 健康で安全安心な 老後を過ごすために

- 長生きする食生活とは
- 振り込め詐欺への備え
- 増やす運用から守る運用など

#### 2 老後の住まいの 選択肢

- 住まいのバリエーションを考える
- 自宅で老後を過ごす
- 高齢者住宅に住み替えるなど

#### 3 認知症問題を 考える

- 認知症を正しく理解し安心の備えを
- 成年後見制度の上手な使い方
- 認知症に対応した信託の活用など

#### 4 納得できる 旅立ちのために

- 自分で決める最期の迎え方
- 次世代への資産承継（遺言と相続）など



シルバーカレッジ  
のチラシ

ミニコンサート  
も交え音楽療法  
を楽しく講義



# 高齢社会に求められる銀行となる



## さまざまな専門家から意見を聞く

三井住友信託銀行は、高齢社会問題を深く知るために、さまざまな専門家との対話を重ねています。例えば、2014年10月には、認知症を専門にされている医学博士や臨床心理士、介護事業者、社会福祉士などをお招きし、認知症を患う高齢者の方がさまざまなトラブルに巻き込まれている現状を踏まえ、窓口対応や商品開発面で期待されることは何かをお聞きしました。三井住友信託銀行には他の銀行のモデルとなるような好事例を示してほしい、という要望もいただきました。



高齢社会問題に関する専門家との対話

## 社員がスペシャリストになる

世界に類を見ない超高齢社会に突入した日本ほど、「老年学」が必要な国はありません。三井住友信託銀行では、お客さまと接する支店の支店長が率先して老年学を学んでおり、2015年1月には初めて、全支店長が日本応用老年学会の監修する「生・活(いきいき)」知識検定試験を受験しました。老年学では、高齢者の生活、健康、老化予防、介護保険、年金制度など広範な知識を習得します。三井住友信託銀行は、さらに多くの社員に老年学を学んでもらい、超高齢社会で真に必要な銀行になることを目指しています。



テキスト「ジェロントロジー入門」

### 老年学 テキストの 内容

- 幸せな高齢社会の基盤、ウェル・ビーイング
- 体の健康
- 心の健康
- コミュニケーション
- 老化予防
- 生活
- 社会交流
- 地域活性化と新しいビジネス
- 介護予防
- 介護保険と介護
- 医療と年金
- 暮らしの安全・安心

# 老年学のすすめ

人類は、これまで経験したことのない高齢社会に突入しました。既成の学問を身に付け、先達の経験を学ぶのみでは立ち行かなくなっているのです。このような社会を見通して20世紀の初めに創られたのがジェロントロジーです。日本では、老年学と訳されています。老年学は、ルネサンス以降、タテ割り化したコト壺化した学問を統合するために生まれました。

老年学は、人間がどのように加齢変化をするか、中年になつた人々に心、体、経済など、どのような問題があるかを科学的にみることを目的にしています。加えて、哲学、宗教、文学などの人文学の見地からも加齢や高齢問題を捉えようとします。シニア向けの商品やサービスの開発、マーケットの開拓などのシニアビジネスへの応用も老年学の一領域です。生涯学習や「終活」にみられる死生学も応用老年学に含まれます。

# Gerontology

21世紀の社会において、高齢社会の運営や施策を考える人、シニアビジネスを目指す人、学校教育や生涯学習に携わる人に老年学は必須です。ボランティア活動や家庭で高齢者に接する人にも老年学の知識は欠かせません。

三井住友信託銀行の方々次々に受験し始めている、老年学の知識を身に付けたウェルビーイング・コンシェルジュを目指すことができる検定試験にもどんどん挑戦していただきたいものです。

日本応用老年学会理事長／  
桜美林大学名誉教授  
**柴田 博**



## ウェルビーイング・コンシェルジュ

NPO法人「生活・福祉環境づくり21」が実施する『『生・活(いきいき)』知識検定試験』に合格した方の中で、認定委員会が認めた既存の資格や検定に合格している方が認定されます。ウェルビーイング・コンシェルジュになることで、シニアに向けたサービスやコンサルティングに、これまでの資格や知識を優位に生かすことができます。



資格認定証



# 「人権」を地球的視野で考える

日本国憲法にも書かれている「人権」。経済の発展、グローバル化の進展により、企業の影響力が格段に大きくなるなかで、三井住友信託銀行は、21世紀に人権が持つ意味を地球的な視野で考え、行動しています。

## 国連グローバル・コンパクト

(2005年に日本の銀行として初めて署名)

- 原則1 企業は、国際的に宣言されている人権の保護を支持、尊重すべきである
- 原則2 企業は、自らが人権侵害に加担しないよう確保すべきである

# 人権を経営課題と位置付ける



人権方針を制定し、  
**国連の指導原則**  
に基づいた  
体制を構築

海外を含む  
グループ全社の  
**人権対応状況**  
を調査(年1回)

**22,164人**

職場内人権啓発研修を  
受けた社員数

**566時間**

職場内人権啓発研修の  
延べ時間

当社では、社員が企業人である前に、人として人権がいかに大切であるかを学びます。そのために、企業連絡会に加盟するとともに部落差別問題や在日コリアンの人権に関する研究機関にも加盟し、全国で開催される各種集会・研究講座・映画会に参加しています。また差別の実態を直接知るために現地学習会にも参加しています。

そして、あらゆる人権問題についての知識を習得し、何かを感じてもらえるよう、毎月全社員に対してメールで「啓発ツール」を配信しています。5分程度で読めるツールですが、高齢者問題や障がい者問題、外国人問題といった直接窓口

にいらっしゃるお客さまに対する配慮の必要性や、いじめやハラスメントといった職場で起こりやすい人権問題、また児童虐待やドメスティックバイオレンス・ヘイトスピーチ・犯罪被害者とその家族の人権問題など社会問題化している人権問題に対する理解も深めるようにしています。社員一人一人が、人を大事にするという意識を常に感じていることが大切だと思います。

三井住友信託銀行 人事部審議役  
関 優



# 日本の中からできること



## ISAKサマースクールの里親として

インターナショナルスクール・オブ・アジア軽井沢 (ISAK) は、次世代を担うリーダーの育成を目指す、日本で初めての全寮制インターナショナルスクールとして、2014年8月に開校しました。1クラス10人～18人の少人数制で、授業は全て英語で行われ、卒業資格として、世界各国の大学への入学資格に認められている、国際バカロレアが取得できる認定候補校となっています。

ISAKは、主にアジア太平洋地域を中心とする海外からの留学生を受け入れるなかで、さまざまなバックグラウンドを持つ生徒が平等に教育を受けられるよう、支援を行っています。三井住友信託銀行は、ISAKがサマースクールでインドのカースト制度最下層の子どもたちのための学校「シャンティ バーバン」から受け入れる生徒の里親として、渡航費、学費、滞在費など一切をサポートしています。2014年は12歳のThulasi Priya Rameshさんをサマースクールに迎えました。



軽井沢に立地するISAKの校舎



Thulasi Priya Rameshさん(中央)  
との記念撮影



サマースクールに参加した子どもたち

# カースト制度と戦う教育理念に賛同する



## 教育機関「シャンティ バーバン」のミッション

シャンティ バーバンは、インドの世襲階級カースト制度において、社会的、経済的に最も不利な立場に置かれた子どもたちの育成を目的としています。子どもたちに自然に恵まれた全寮制という環境と最高の教育プログラムを提供し、世界に通用する価値観を養います。

創立者アブラハム・ジョージ博士(Dr. Abraham George)は、カースト制度によって不利な立場に置かれた人々の状況を改善し、次世代への連鎖を断ち切るためには、子どもたちの教育が最も大切であると考えていました。

カースト制度最下層の子どもたちが最高の生活環境のもとで



シャンティ バーバンで学ぶ子どもたち



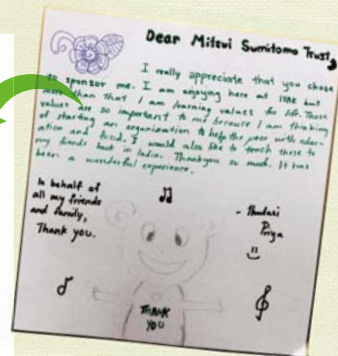
教育を受け、やがてリーダーとして成長すれば、子どもたちの家族を含め多くの人々がそれによって救われ、次世代にも良い影響を及ぼしていきます。シャンティ バーバンのような教育プログラムを多くの学校が実施することで、2000年にわたって続いてきたカースト制度による差別を撤廃することができるのです。

## Thulasiさんからのお礼の手紙

三井住友信託銀行様

私は今、ここISAKで過ごすことを楽しむだけでなく、私にとってとても大切な、生きる価値を学んでいます。私は将来、貧しい人たちに教育や食物を支援する団体を立ち上げたいと思っています。インドにいる友人たちにも、この価値について教えてあげたいと思います。素晴らしい経験をさせていただき、本当にありがとうございます。友人全てと家族を代表して、感謝申し上げます。

Thulasi Priya ☺



# 自然を守る「信託」を支援する

ナショナル・トラストは信託銀行と同様、英国の信託(トラスト)制度が原点です。私たちは信託の精神で貴重な自然を守る日本のトラスト運動に共鳴し、全国の活動を映像を使って次世代に伝える取り組みを行っています。



ナショナル・トラストで守られた水源の森の大切さを教える  
(岡山市立角山小学校)

# 次世代にナショナル・トラストを伝える



## トラスト運動発祥の地を舞台に

1964年、鎌倉のシンボル鶴岡八幡宮の奥に広がる御谷<sup>おやつ</sup>の森に宅地開発計画が持ち上がりました。事態を憂慮した作家の大佛次郎氏らが立ち上がり、市民からの募金で開発予定地を買い取って森を守りました。そして、これが日本のナショナル・トラスト運動の嚆矢となったのです。

日本の貴重な自然を守るために、ナショナル・トラスト運動をもっともっと広げたい。三井住友信託銀行はそうのように考え、質の高い映像教材を作り、未来を担う子どもたちに身近なトラスト運動を知ってもらうプロジェクトを推進しています。これまで天神崎(和歌山)、小網代の森(神奈川)、美作・水源の森(岡山)のトラスト運動を題材にした授業を地元の小学校で行ってきました。ナショナル・トラスト50周年に当たる2014年は発祥の地、御谷の森取材し、鎌倉市立七里ガ浜小学校で授業を行いました。

授業当日は、鎌倉市の松尾崇市長も駆けつけ、鎌倉の美しい景観を守るトラスト運動の意義を子どもたちに熱く語っていただきました。



鶴岡八幡宮と御谷の森

授業の前にあいさつされる松尾鎌倉市長

## ナショナル・トラスト運動の 大切さを訴える小学校での授業



トラスト運動の現場  
を環境専門メディア  
グリーンTVが取材



取材で収録した  
映像を使って動画  
教材を作成



三井住友信託銀行の社  
員が先生となり、地元小  
学校で授業を実施

# 銀行の機能を活用した社会貢献



## ベルマーク運動を50年間支え続ける

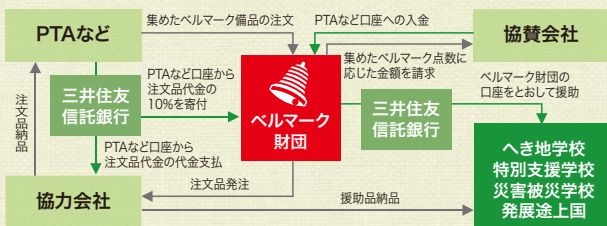
身近な商品に付いた小さな“ベルマーク”。皆さん、一度は目にしたことがあるはずです。「ベルマーク運動」は、集めた点数に



三井住友信託銀行  
本店法人業務 第二部  
主任調査役  
赤井 俊一

応じて協賛会社から資金提供を受け、学校の備品購入などに役立てる教育助成を目的とした制度です。1960年から実に半世紀を超えて続く運動は、へき地の学校や発展途上国への援助、災害被災学校等への援助資金（友愛援助）など広範囲な社会貢献活動としての一面も持ち合わせています。

### ベルマーク運動での役割



私たちは財団に協力し、全国2万8千規模のPTA口座とその資金管理を一手に引き受ける銀行として、地道な運動を裏方で支えています。

管理する口座数も膨大ですが、それぞれに一生懸命集められた方の思いが詰まっているため、細かな事務処理でも気の抜けない業務と感じています。その先にある子どもたちの笑顔を思いながら、これからも運動を盛り上げるために、少しでもお手伝いできればと思っています。



ベルマーク財団から援助を受けた宮城県内の大震災被災の中学校の生徒



三井住友信託銀行は、2013年6月から、次世代にのこしたいと思う大切な「人・モノ・コト」を「わたくし遺産」として、400文字程度のエピソードを募集しています。大賞・準大賞を受賞した作品は、冊子としてまとめられ、全国の支店ロビーで配布されます。

※掲載の3作品は第2回の大賞受賞作品です。

#### 手巻き腕時計

「氣に入ったのがあったらこれで買って来たら」。  
出勤時妻に呼び止められ封筒を手渡された。お金が入っている感じだ。  
私の腕時計は中古買いのせいか毎日修正を要するようなおんぼろ。折々漏らす私の愚問に家計を走り回りした妻が工面をしらしい。会社内には日用百貨を並べる売店がある。腕時計も格好良く飾られている。  
昼休みを待ちかねて行く。目当てなどないから決めた手は見栄えと値段だ。封筒の中身に記憶がないが、当時昭和30年頃の私の月収は確か3万円程。  
結婚したのは昭和25年。未だに戦後が色濃く残る世相であった。実母の大病で暮れも尽きるような薄氷を踏む日々、そのような中で渡された封筒の中身には、妻の思い遣りと凝縮された苦勞が窺えた。  
私は時計を買って帰った。玄関に出迎えた妻に「これ」と言って渡した。  
絶句した妻の頬に小さな涙が。私が買ったのは妻への腕時計だった。  
あれから60年、一人ぼっちになった私の手元、それは時を停めて眠っている。

野崎 清 様 (埼玉県 89歳)

#### 戻ってきた風船

一歳の娘と買い物中、風船を買った。風船好きの娘は大喜びで握りしめていた。ところが、帰宅途中駅のホームで、風船は娘の手を離れ、天井に上って行ってしまった。天井まで三メートル以上はある。私がジャンプしてもとても届かない。「もう諦めよう。」と泣きそうな娘を諭して、その場を去ろうとしたその時、背後から「肩車するぞ。」と言う声が聞こえた。振り返ると、二人の青年が肩車を始めていた。「もつと右」「二人同時にジャンプするぞ。」などと言って、二人共肩をまっ赤にしながら必死で何度も何度も風船をとりとまってくれた。そして一瞬風船に手が触れ、奇跡的に風船が娘の元に戻ってきた。私は見知らぬ子どもたちの為にごんなに懸命になれる二人の青年の優しさに、胸がじても熱くなった。娘もまた彼らの温かい気持ちを感じたのか、それから片時も風船を離さず、寝る時さえ大事そうに抱えていた。  
風船は今ではすっかりぼんやりしてしまっていたが、彼らの優しい心は今でもしっかりと心の中にある。青年達の優しさは娘にも伝えていきたい私の遺産だ。

松本 千佳 様 (奈良県 34歳)

#### 娘にとってすこい人

毎朝、出勤時に3才の娘を保育園へ送り届けるのが私の日課だ。たくさんのゴミを次々とゴミ収集車へ放り込んでいくおじさんの姿を見て、娘は大きな声で「すこいなあ」と言った。おじさん達は少し照れくさそうに微笑んでいた。また別の日、娘と近所の公園へ行こうに乗った時、すべり台を駆け下りる姿を、娘は目を輝かせて見ていた。「おにいちゃんすこいなあ!」男の子達は聞こえないふりをしていたけれど、その後も次々と技を見せつけた。先日、洗い物をする私に「まますこいなあ!」と言った。毎日洗い物をする自分を「すこい」と思ったことがなかった私は、なぜだかすこく嬉しかった。本来どんな人も皆それぞれに、すこい事をしているのだと思う。掃除も、勉強も、遊びも、家事も。さて、娘が大人になった時、今と同じようにすこいと思えるだろうか。わたくし遺産として残せるのなら、今の娘の感動を残したい。

田中 典子 様 (和歌山県 29歳)



# 環境問題で金融界のリーダーとなる

一刻の猶予も許されない地球  
環境問題への対応。私たちは  
解決に向け国内外でリーダ  
ーシップを発揮していきます。



2012年10月、『不都合な真実』の著者である元米国副大統領  
のアル・ゴア氏が来社し、三井住友信託銀行社長の常陰と、  
持続可能な未来に投資する資産運用について議論しました。

## 日本の金融界を牽引する

1,600兆円もの個人資産に裏打ちされた日本の金融力を持続可能な社会の形成にフル活用する。そうした趣旨から2011年に作られた21世紀金融行動原則に当社は起草から携わり、現在は運営委員長を務めています。193の署名機関の議論の積み重ねや協働の拡大に向け一貫してリーダーシップを発揮することで、日本の金融界を牽引し、環境問題に挑戦していきます。



## 世界の金融界に発信する

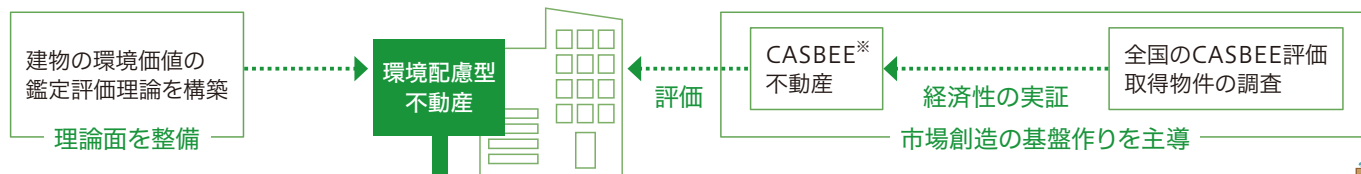
金融力は日本の高度な環境技術を育むバックボーンの一つになってきましたが、これまで国際的な発信が十分とはいえませんでした。当グループでは、国連が支援する責任投資原則の年次総会（2014年9月、カナダ）や生物多様性条約第12回締約国会議（2014年10月、韓国）などさまざまな場で日本の取り組みを発表し、世界に向け積極的な発信に努めています。



## 環境市場の創造でイニシアティブを取る

地球温暖化を緩和するには、二酸化炭素の3分の1を排出する建築物の省エネが不可欠ですが、コスト増につながるため抜本的な取り組みが進んでいないのが現状です。当グループは、環境配慮型不動産の価値が評価される市場の創造が何よりも

必要だという信念のもと、2007年に産官学の有識者研究会を組成しました。さらに国などへの働きかけを通じ、テナントや投資家などに分かりやすい環境配慮型不動産の評価指標の導入や経済性（建物の価値）の調査・分析などを主導してきました。



※ CASBEE…国が主導する建物の環境性能を評価し格付けする手法

# 社会貢献からビジネスへ(世界に先駆けた商品開発)

## 2008

### 生物多様性の応援団として

毎年4万種の生物が絶滅し、気候変動より危機的な状況といわれる生物多様性。2008年5月、私たちはドイツで開催された生物多様性条約の9回目の国際会議(COP9)から“The economics of ecosystems & biodiversity”という1冊の報告書を持ち帰りました。報告書のテーマが2010年に名古屋で開催される次の会議(COP10)の焦点の一つになると考えた私たちは、すぐに著作権を獲得し、翻訳チーム※を組成し、10月にその日本語版「生態学と生物多様性の経済学(中間報告)」を出版しました。

このレポートは、その後TEEBと呼ばれ、COP10を控え、学術関係者だけでなく多くの人に読まれ、市民団体の勉強会などで活用されました。日本において、とりわけ市民社会において、生物多様性の議論の活性化に貢献することができた、と私たちは考えています。

※ 公益社団法人 日本生態系協会、株式会社日本総合研究所



## 生物 多様性

## 2010

世界で初めて生物多様性をテーマにした株式投資信託を発売。2010年日経ヴェリタス賞優秀賞を獲得



## 自然資本

(生物+生物を育む  
水、空気、土地など)

# 2012

日本の金融機関で唯一  
国連環境計画・金融イニ  
シアティブの自然資本宣  
言に署名



# 2013

世界で初めて自然資本  
を評価に取り入れた融資  
商品を開発。環境白書(環  
境省)にも取り上げられる



# 2015

2015年2月、WWFジャパン(公益財団法人 世界  
自然保護基金ジャパン)主催の『ビジネスと生物多  
様性勝手にアワード』において、三井住友トラスト・  
ホールディングスは大賞に次ぐ優秀賞(「オリーブの  
葉賞」)を受賞しました。

WWFジャパンは、国内の上場企業1,818社の環  
境報告書類やウェブサイトで公開されている情報を  
調査し、独自に設けた評価項目に基づいた審査を踏  
まえ、大賞、優秀賞、特別賞の受賞企業計9社を選定  
しました。



WWFジャパン事務局長筒井隆司氏  
(右)と当社常務執行役員高倉透

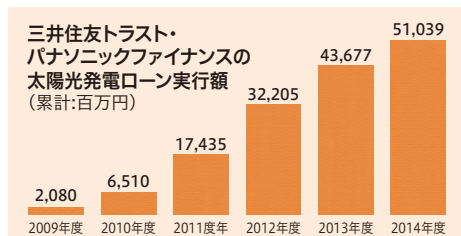


# 街中をスマートハウスに

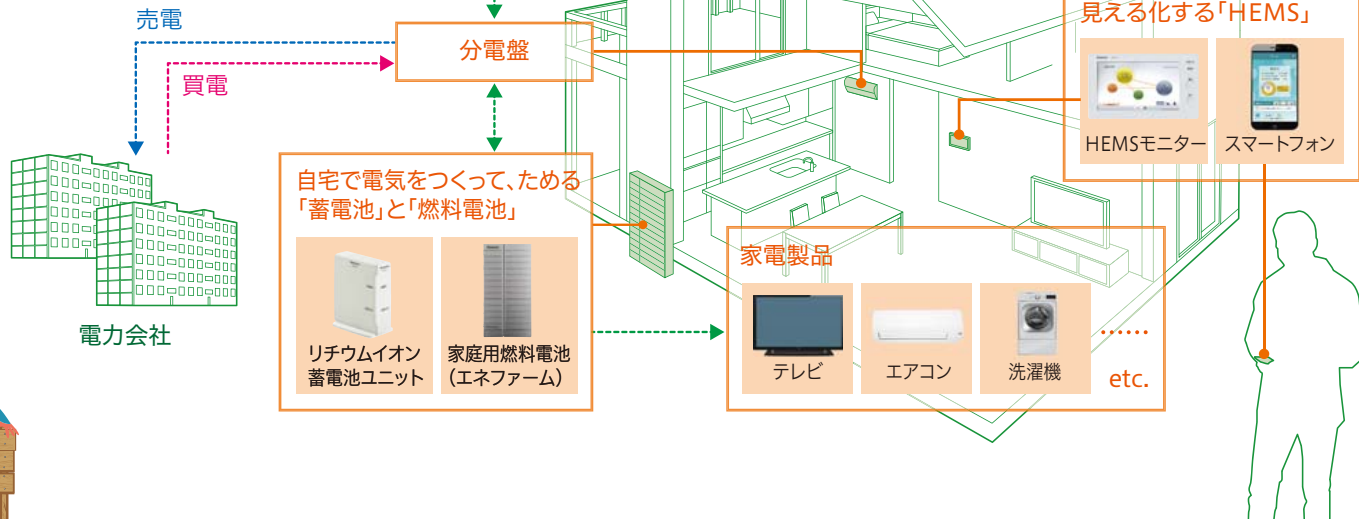


エネルギーを賢く(スマートに)利用するスマートハウス。  
クリーンエネルギーなどで電気を調達し、災害にも強い快適

な住宅です。当グループは太陽光発電ローンなどをお客さま  
にご提供し、住宅のスマート化に貢献しています。



2014年度の実行額は第4四半期(2015年1～3月)の数値が含まれていません



# 日本中をサステナブル・タウンにしたい

スマートハウスが立ち並ぶFujisawaサスティナブル・スマートタウン。

温暖化や高齢化問題に適応した日本のまちの将来がここに凝縮されています。

サステナブル・タウンは「持続可能なまち」という意味。

No.1サステナビリティバンクを目指す私たちは、信託銀行グループのノウハウをフルに生かし、日本中をサステナブル・タウンに変えていきたいと考えています。



三井住友信託銀行はFujisawaサスティナブル・スマートタウン協議会のパートナー企業としてスマートタウンの評価指標の設計などを行っています。



blog

## ブログを通じた地域への情報発信

「With You支店ブログ」では、三井住友信託銀行のスタッフが地域の活動や、支店でのイベント情報、お客さまのお役に立つ情報などを随時発信しています。

### ロビー展の紹介

ロビー展をご紹介します。絵画・写真・工芸・趣味など、展示作品も募集しています！



### セミナー情報

資産運用、不動産、相続・贈与など、お役に立つ情報を提供しています！



### 地域活動

地域のイベント、季節行事への参画や環境保全活動への参加など、幅広い活動をしています！



WEBサイト <http://branchblog.smtb.jp/>

With You支店ブログ

検索

## 拠点網

当グループは首都圏・関西圏・中部圏を中心とするバランスの取れた拠点網を構築しています。

国内拠点数（2014年12月末現在）

|     | 支店  | コンサルプラザ・<br>コンサルティングオフィス等 |
|-----|-----|---------------------------|
| 首都圏 | 53  | 22                        |
| 関西圏 | 28  | 5                         |
| 中部圏 | 19  | 1                         |
| その他 | 21  | 0                         |
| 合 計 | 121 | 28                        |

### 国指定重要文化財 三井本館(三井住友信託銀行 日本橋営業部)

日本橋大通り沿いでひととき目立つクラシックな建物、三井本館。コリント式の巨大な柱を抜け、建物の中へ足を踏み入れると、立派な大理石の床に思わず見上げてしまうほど高い天井を持つ、壮麗な受付ホールがお客さまをお迎えします。また、地下1階には、米国モスラー社に特注した東洋一と名高い大金庫があり、現在も貸金庫として利用いただいています。ビルの竣工は1929年。当社(当時は三井信託銀行)は竣工時からこの建物に入居し、1932年の血盟団事件やGHQによる接収(4・5階部分)など激動の昭和を体験しました。三井本館は、その歴史的・建築的価値の高さから国の重要文化財に指定され、日本橋のシンボルになっています。



写真:「月刊日本橋」